



# 仲西 淳

Jun Nakajishi

## INTERVIEW 04

(取材・構成 定山 敬)



アメリカは色々な部分で自分の肌にあっていると感じられる事が多かったので、苦勞はありましたが、それで日本に帰ろうと思った事は一度もないですね。  
——アメリカに行く前と今の自分と比較して一番大きく変わったことは何ですか？  
やはりバスケットに対する「気持ち」です。意識や取り組み方が行く前と行った後では大きく変わったと思いますし、渡米前は遠い存在だったアメリカのバスケットが凄く近い

存在になりました。  
(アメリカが) すぐに行く事も帰る事も出来る第2の故郷のような感じになりましたね。(シーズン前の年の) 夏もアメリカでトレーニングしてましたので、自分の中では人生の一部ですね。  
——これから海外、特にアメリカでプレイしたいと思ってる人にアドバイスいただけますか？  
流されないで欲しいですね。確かに実際は行ってみたいと判らないことが多くですけど、以前に比べれば

アメリカに行く人も増えましたし、情報とかもたくさん得られますけど、やらなきゃいけないのは自分だし、目的をはっきり持って行って欲しいですね。実力社会なので厳しいことやツライこともあるけどそれに負けない精神力を養って行って欲しいです。良いほうにも悪いほうにも転がる可能性を持っているのがアメリカですから。アメリカに行かなかつたら今のプロとしての自分はなかつたでしょうし、だからアメリカに行つて良かったと思っています。みんな



小学校でのイベントが当初の予定時間よりも長くなり、慌しい中でインタビューとなりました。  
開幕前の貴重な時間にも関わらず、挨拶もそこにインタビューの私的な話題から。  
**アメリカに行かなかつたら今の自分はない**

——実は私も同じ中学校出身です。

ええ！先輩!?  
——そうですね、先輩になりますね。なんかご近所ですね。  
中学まで都内でその後、高校からアメリカです。  
——最初にアメリカに行こうと思っただけは？  
バスケットを始めるきっかけそのものがNBAのマイケル・ジョーダン等のプレイを見たことだったので、バスケットをするならアメリカでいたいなあと思っていました。中学3年生の時にアメリカで(マイケル・ジョーダンのバスケットボール) キャンプに参加して、その時現地のプレイを生で経験し、自分にはアメリカという場所が合っていると実感したこと、元々持っていた憧れや想いが膨れ上がって、中学卒業と同時に「行こう！」と決心しました。  
——アメリカに行く前に何か特別準備されたことは？  
渡航の仕方や英会話教室に通ったりして自分で出来る準備はしました。そういう準備をする中で更に自分の気持ちを高めていきました。  
——どなたか知り合いがアメリカに？  
いえ、最初は(留学などを) 斡旋してくれる会社を自分で調べてそこを利用して渡米しました。  
——単身ということで何か不自由したことは？  
最初はありません。ただやはりア

がみんなアメリカに行けば上手くなる訳ではないので、やっぱり自分次第だと思いますね。(海外に憧れを持つ人が) その事をふまえて行くなら是非挑戦して欲しいです。  
——(開幕前) 今のコンディションは？  
調子はいいですね。

——今シーズンの意気込みを？

開幕戦が全てではないですけど、開幕戦で勢いをつけてシーズン40試合最後まで戦っていきいたいと思っています。  
目標は4月に最後まで残っていることです。

——この試合は目標は優勝ですか？

はい。

——今日はありがとうございました。

### ● PROFILE ●

仲西 淳(ナカニシジュン) (a.k.a. J-Walk)  
身長: 179cm  
体重: 73kg  
生年月日: 1982年7月7日  
出身地: 東京都  
サンタモニカカレッジ卒業  
ポジション: PG